「（仮称）大田区中馬込三丁目複合施設及び（仮称）大田区南馬込四丁目複合施設に係る基本計画（案）」に関する住民説明会
【議事要旨】

日　　時 ： 【１回目】令和８年 10 月２日（金）18 時 30 分～
　　【２回目】　〃　10 月３日（土）10 時 00 分～

会　　場 ： 【１回目】　馬込特別出張所　２階会議室
　　【２回目】　馬込区民センター　２階第一集会室

参 加 者 ： 37 名（内訳：①23 名、②14 名）

説明内容 ：

1	開会あいさつ	馬込特別出張所長
2	取組の目的・計画地の概況	地域力推進課担当者
3	施設整備方針	〃
4	施設計画（中馬込・南馬込）	〃
5	今後のスケジュール（予定）	〃
6	質疑応答	各所管課担当者
7	閉会あいさつ	施設整備課長

６　質疑応答　（■住民　〇行政）

【 １回目：令和８年 10 月２日 18：30～ 】

■　（中馬込地区）「建物の入居施設と機能」について

池上図書館のように、スターバックスコーヒーや自動販売機など、目的がなくても訪れられる飲食スペースを整備してほしい。また、防災時の混雑を考慮し、女性トイレを多くしてほしい。併せて、全国の有名な図書館のように、人が集まる優秀な設計者の起用を期待している。

〇 区内の他の事例を踏まえても、専門店舗の導入はハードルが高いが、自動販売機などを設け、休憩場所を含めた飲食機能のあり方を検討する。トイレや設計の在り方については要望として承る。

■　（中馬込地区）「図書館の運用方針と規模」について

ロビー空間とは、特定の空間か、施設全体をロビー空間として作るのか。
図書館は静かに本を読むだけでなく、おしゃべりや演奏会ができる交流の場にしてほしい。また、図書館の規模や、会話可能な運用方針を教えてほしい。

〇 ロビー空間は、共用部分（廊下等）を活用して整備する想定。図書館の規模は、

既存と同程度を想定している。「図書館＝静寂」という概念を変え、会話や交流を大切にしたい。同時に静かな読書エリアも分け、メリハリのある空間を検討する。

■ **（共通）「説明会の周知」について**

説明会の周知が HP や直前チラシのみでは不十分。

○ 周知不足をお詫びし、今後は広報ツールのあり方を工夫・徹底する。

■ **（中馬込地区）「駐車場、駐輪場の必要台数」について**

駐車場、駐輪場の必要台数は何台か。

○ 駐車場の台数は条例の附置義務や利用状況を勘案し基本設計で検討・提示する。

■ **（中馬込地区）「図書館のあり方について」について**

学生などに偏らず、若い世代も集まるような新しい形の図書館にしてほしい。

○ 多世代に利用されるよう、区としても同様の意識で提案を取り入れ検討する。

■ **（中馬込地区）「建物の内装と景観」について**

武蔵野プレイスなどのように、若い世代を呼ぶため、モダンでおしゃれな家具・インテリアを導入してほしい。また、「ゆうやけ児童公園」との一体感（テラス等）や外構を重視し、気軽に入りやすいよう外から中の様子が見える入りやすいデザインにしてほしい。

○ スマイル大森の１階のように、若い世代・子育て世代が魅力を感じるデザインや空間づくりの視点を大切にしたい。また、周辺の景観・スカイラインを生かした設計を目指す。

■ **（中馬込地区）「建物の高さ」について**

中段（図書館等が入る部分）は、今の保育園より高くなるのか。日照への影響が気になる。

○現在の保育園よりも約 1 階層分高くなる想定。詳細な高さや影響については、工事に入る前の、「大田区中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例」に基づく説明会など、様々な機会をとらえて、説明の場を設ける。

■ **（中馬込地区）「建設にかかる障害や制約」について**

解体・工事の騒音・振動対策として家屋調査（柱の傾斜等含む）を実施してほしい。また、保育園南側にある袋小路の私道から、本施設への人・車の侵入の有無、（覗き見対策）見合い、下水への接続の有無、電波障害への対応はどうなるか。

○ 工事前の家屋調査は実施する。

○ 保育園南側の袋小路の突当りの既存擁壁部分の高低差は残すため、私道からの出入りは想定していない。下水は北側の区道側から引き込む想定。覗き見対策（諸室の配置や建物のセットバック等）や電波障害も考慮する。

■ **（南馬込地区）「周辺道路等の安全性」について**

北側道路は抜け道で交通量が多く、現状でもこどもの飛び出しが危険だと感じている。新しい施設になると人が増えるため、例えば 30km/h 制限や大型車の規制など、せっかく新しい施設となるのに事故に繋がってしまうという事態は避けたいので、道路側の安全対策を検討してほしい。

○ 施設整備の観点から安全対策を検討していく。

■ **（南馬込地区）「区民センターの導入機能」について**

交流・文化促進のため、区民センターにみんなで簡単に料理し食べられる「シェアキッチン」的な機能を設けてほしい。

○ 今後の検討の参考としていく。

■ **（南馬込地区）「老朽化対応と跡地活用」について**

郷土博物館や馬込文化センターの老朽化対応はどうなるか。また、南馬込の区民センター跡地を、スポーツもできる公園や広場（緑化）として活用してはどうか。

○ 郷土博物館は、一時的に旧区民センターへ仮移転のうえ、長寿命改修を行う。

○ 馬込文化センターは、中馬込の複合施設完成後に別途長寿命化工事を検討している。旧区民センター等（みなみまごめ保育園）の跡地利用は未定だが、防災機能や広場空間の確保も含め検討していく。

■ **（共通、中馬込地区）「施設機能の共有」について**

今回の基本計画は決定事項なのか。目的が違う「出張所（申請）」と「図書館（憩い）」は同居して機能するのか。

○ 配置案は提示したが、具体的な機能の意見を聞きながらブラッシュアップする段階。

○ 「出張所（申請）」と「図書館（憩い）」はエントランスやロビー空間等の共有により、目的の違う多世代が自然に交流する相乗効果に期待している。

■ **（中馬込地区）「安全性と地域特性の活用」について**

こどもが集まるとボール遊びなどによる交通事故の発生の危険もあるため、「ゆうやけ児童公園」の安全性を最優先してほしい。また、山坂と自然が残る地域特性を踏まえ、敷地内の緑を極力残す設計にしてほしい。

○ 安全面は公園担当部署と綿密に打ち合わせを重ねる。こどもだけでなく大人も

本を持ってくつろげる、安全で緑豊かな空間づくりを目指す。

■ **（中馬込地区）「西側道路からの導線」について**

西側道路から保育園棟の屋上に上がってバス通りに出られる動線は、雨天時に雨ざらしになるのか。

また、西側から入った場合、図書館や出張所の内部を通り抜けないとバス通り側に抜けられない構造なのか。

○ 通路は屋根設置を検討している。保育園の屋上園庭とはフェンス等で区切り安全を確保。猛暑を踏まえた日よけ設置等も保育園側と調整する。

○ 施設内部を横切るのではなく、屋外の通路を通って直接バス通りへ通り抜けられる動線計画で検討している。

【 2回目：令和8年10月3日 10：00～ 】

■ **（共通）「説明会の周知」について**

説明会の周知がHPや直前チラシのみでは不十分。また、説明会の案内投函が3日前だったが、なぜ時間がかかったのか。今後の周知ルートはどうするか。

○ 周知不足をお詫びし、今後は広報ツールのあり方を工夫・徹底する。

○ 7月に町会へ説明・掲示依頼したが、近隣の方に向けてさらなる周知を図るために直前に投函した。今後は数ヶ月前から町会等を通じて周知し、設計完了後も条例の範囲で投函する。

■ **（南馬込地区）「工事車両の通行」について**

工事中、おいはぎ坂（南側）からの工事車両通行は控えてもらえるか。

また、保育園の出入口や敷地内通路の車の出入りはどうなるか。

○ 南側は道幅から大型車両の通行が難しいため、工事中・完成後ともに基本は北側を想定し安全に配慮する。保育園の出入口は南北に設けるが、車両の基本動線は北側の駐車場側を想定している。

■ **（中馬込地区）「図書館のあり方」について**

オスロ（ノルウェー）の図書館のように、静かに本を読むだけでなく、こどもが工作などモノに触れられる環境にしてほしい。施設の活用については、住民が使い倒す施設にするため、ワークショップ等で地域と対話する機会を作ってほしい。また、参考にしている施設はあるか。

○ 保育園や児童館との複合を活かし、こどもが本に触れられる空間を考えている。

○ 年明けに施設の使い方のアイデアを伺うワークショップを予定しており、出張所の待合でも本に親しめる工夫をしたい。

○ 施設の規模等について異なる点はあるが、ロビー空間のしつらえなどの観点で、

大和市の「シリウス」や武蔵野市の「武蔵野プレイス」などの機能複合施設を参考にしている。

■ **（中馬込地区、共通）「馬込文化センターの今後と施設機能」について**

現在の馬込文化センターはどうなるのか。スマイル大森の 1 階や 5 階のように、人が集まって軽食が取れるスペースを考えてほしい。

○ 馬込文化センターは、中馬込地区の複合施設完成後に別途長寿命化工事を検討している。

○ 複合施設にはロビー空間を設けるので、そこで軽食や多世代の交流ができるように検討していく。

■ **（共通、中馬込地区）「周知方法と参考施設」について**

２日の説明会でも意見が出たように、馬込エリア全体で緑を考えてほしい。また、情報発信には地域情報紙「わがまちまごめ」を活用すると良い。入新井図書館、せせらぎ公園、池上図書館、スマイル大森（5・6 階）など、区内の良い場所を参考に人が集まる施設にしてほしい。

○ 今後の検討の参考にしていく。

■ **（南馬込地区）「郷土博物館の今後」について**

郷土博物館はどうなるのか。また、現在の郷土博物館は傾斜地でアクセスが悪いため、品川歴史館を参考に、旧池上図書館のようにアクセスの良い場所へ移転してほしい。

○ ご意見いただいた立地に関するご要望はいただきつつも、現状郷土博物館は、現在地での運営を引続き検討しているため、一時的に旧区民センターへ仮移転のうえ、長寿命化工事を行う。

■ **（共通、南馬込地区）「周知方法と計画のテーマ」について**

地域情報紙「わがまちまごめ」の情報コーナーにも説明会の情報などを載せた方が良いので、活用を相談してほしい。また、計画コンセプトは素敵だが、「文化の丘」というテーマは南馬込の方にあっているのではないか。

○「わがまちまごめ」への掲載は今後編集委員と相談しながら進めていく。

○ 南馬込の方が、文士村とのかかわりが強いことは理解しているが、今後は中馬込も文化の色を強めたい。いただいた意見は参考にしていく。

■ **（南馬込地区）「土地の管理と工事マナー」について**

現在空き地となっている道路に草がはみ出ている。土地の管理はどうなっているか。防草シートなどの対応も検討してはどうか。また、工事車両の通行マナーや喫煙など、工事業者に対して情報をどう周知するのか。

○ 土地管理は委託業者が年 2～3 回、区職員が年 3～4 回で草刈りをしている。防

草シートは費用対効果（飛散や雨が浸透せずに崖下に全て流れてしまう懸念等）を考慮し草刈り対応とした。

○ 工事のルールは末端まで伝わるよう徹底し、今後は仮囲いへの掲示など説明会の周知方法も工夫していく。

■ （共通、南馬込地区）「保育園の園庭」について

保育園の園庭が日曜日に閉鎖するのはもったいないため、保育園の屋上園庭を休日に開放できないか。また、周辺に飲食店が少ないため、軽食コーナーなど集まれる場を設けてもらいたい。

○ 園庭の開放については今後の保育園運営法人との協議事項となるため、交渉していきたい。

○ 区内の他の事例を踏まえても、専門店舗の導入はハードルが高いが、自動販売機の設置による飲食物の提供など、休憩場所を含めた飲食機能のあり方を検討する。

■ （中馬込地区）「馬込文化センターの機能」について

中馬込の複合施設に馬込文化センター機能は含まれないということでよいか。

○ 馬込文化センターは、中馬込の複合施設完成後に別途長寿命化工事を検討している。

■ （南馬込地区）「南馬込文化センターの今後の計画」について

南馬込文化センターの今後の計画があれば知りたい。馬込文士村のガイドをしており記念館の構想を持っている。新しい施設の中に充実した文士村のコーナーを作ってほしい。

○ 南馬込文化センターについても今後検討を行っていく。馬込全体が盛り上がるよう、コーナーの設置等も含めて考えていきたい。

■ （南馬込地区）「工事計画」について

南馬込複合施設の計画地について、西側の崖下擁壁は再整備するのか。

○ 周辺住居の安全を確保する観点からも、崖下の擁壁は再整備する方向で検討を進めている。設計段階で具体的に検討を行うため、適宜共有する。

以上